

芦北の渚で拾えるエトセトラ

八代市立八千把小学校 6年 岡部 悠妃

1 研究の目的

松ヶ崎海水浴場（田浦）の浜辺には、何種類くらいの貝殻があるのか、貝殻以外にはどのようなものがあるのか、どのようなゴミがあるのかを調べてみることにした。

海岸によってゴミの種類が違うのかどうかを芦北の他の海岸でもゴミを拾ってみて調べてみることにした。



(松ヶ崎海水浴場)

2 研究の方法

(1) 干潮時を中心にゴミ拾いと貝殻を拾う。

(2) 拾った貝殻やゴミの分別をする。その後撮影を行い、ゴミの数を数えて記録する。

○調べた場所 松ヶ崎海水浴場, 萩の越海水浴場, 鶴ヶ浜海水浴場, 黄金ヶ浜海水浴場 等

○調べた期間 平成24年10月～平成25年7月 毎週土曜日か日曜日

3 研究の結果及び考察

(1) 貝殻

- ・一枚貝…約25種類
- ・二枚貝…約150種類
- ・巻き貝…約175種類
- ・その他…約20種類

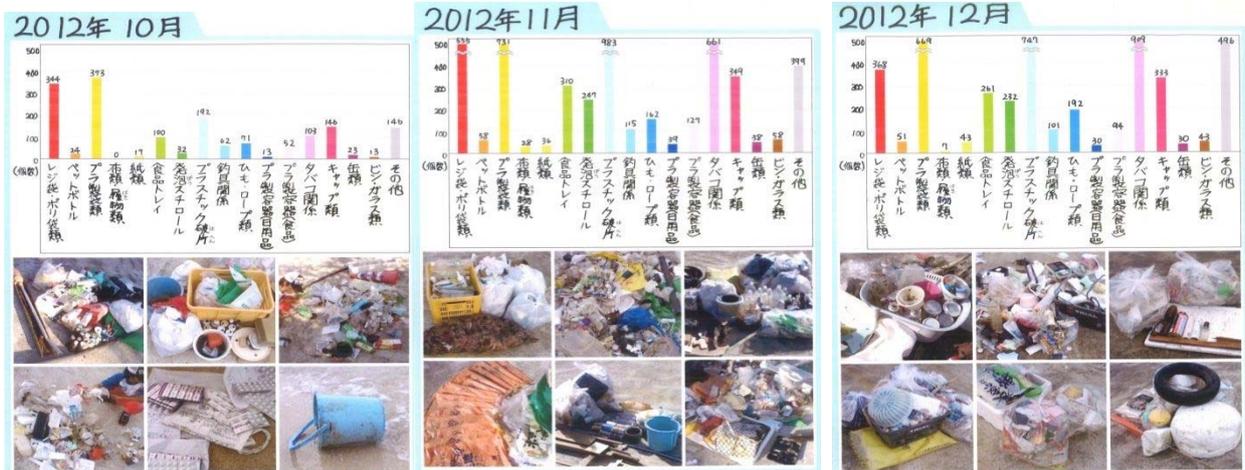


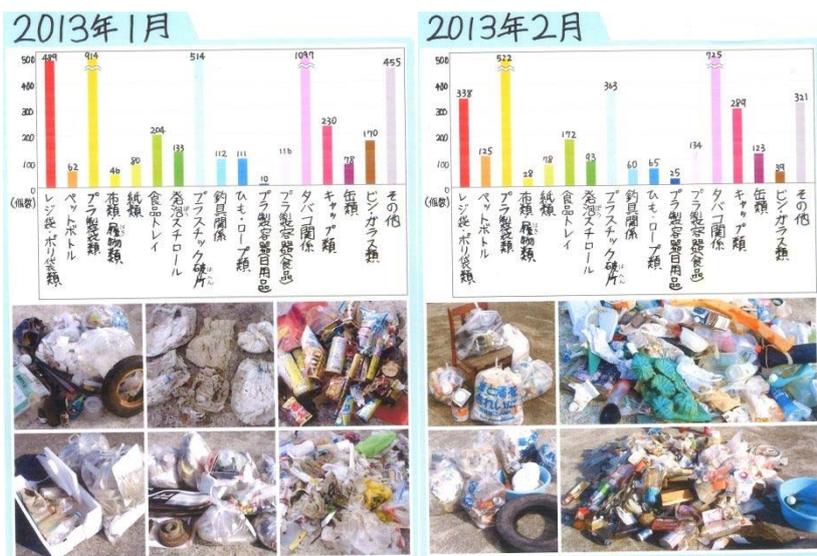
○多い貝殻の種類 1位: ネズミノテ 2位: ワシノハガイ 3位: カニモリガイ

(2) 貝殻以外

ア魚介類の死がい…魚類（ボラ、クサフグ、タチウオ等8種類）イカの赤ちゃん、シャコ、ウミケムシ、ヤドカリ、カニ（17種類）、ヒトデ(4種類)、ウニ（3種類）、クラゲ（6種類）
 イ動物の死がい…イヌ、ネコ、サギ、カラス、タヌキ、カメ など
 ウ野菜・果物…白菜、サトイモ、ミカン、ショウガ、カキ、クリ、ナス タケノコ など
 エその他…流木、セミのぬけがら、鳥の羽、松ぼっくり、どんぐり など

(3) 人工のゴミ





<考察>

松ヶ崎海水浴場の人工のゴミの約66%が、プラスチック・ビニールであった。

家庭ゴミが袋ごと捨ててあり、故意に捨てられたと思われるゴミが多くあった。

貝殻など天然の物もたくさんあり、自然豊かな場所であるが、自然にゴミが分解するのに時間のかかるゴミが多く見られ、海の生物の生活を邪魔している。

(4) 芦北の他の海岸との比較



鶴ヶ浜海水浴場

ゴミ拾いをした海岸の中で、一番ゴミが少なかった。海水浴でにぎわう浜辺なので、かき氷などの発砲スチロール製のゴミが多かった。

萩の越海水浴場

様々な生活ゴミが漂着していた。洗剤の容器などの生活ゴミが圧倒的に多かった。くつやぞうりなどの履き物も多かった。

<考察>

- ・ どの海岸も家庭で使った後のゴミが多くあった。ゴミ袋で100袋以上回収した。また、不法投棄のゴミが増えている。
- ・ 芦北は内海なので、外国からの漂着ゴミはないだろうと考えていたが、中国や韓国からのゴミも流れついていた。
- ・ 漂着するゴミ（人工のゴミも）にも季節感があった。冬はミカン、春はタケノコ、秋にはセミのぬけがらが多かった。正月は鏡もちのプラ容器やしめ縄が流れ着いていた。

4 研究のまとめ

- (1) 予想をはるかにこえる貝殻の種類があったので、とても驚いた。貝の名前を調べる際に、図鑑にのっていないものや微妙に形や色が違う物があり、判別が難しいほど多くの種類があった。
- (2) プラスチック製のゴミが圧倒的に多く、1cm未満の細かいプラスチックの破片がたくさんあった。全部拾うことができず残念であった。
- (3) たくさんの貝類が絶滅危惧種に指定されていることを知り、海のゴミの影響もあるのではないかと思った。
- (4) この研究を通して、ゴミ拾いをしなくて良い環境作りを訴えたいと思った。でも、まずは誰もがゴミ拾いを当たり前のようにする習慣を作らないといけないと思った。
- (5) これからもゴミ拾いを続けていきたいと思う。